

第5連区ビハーラ研修会

ビハーラ熊本30周年記念大会

テーマ

「きつかときによ、 ゆうてみなっせ」
～ よりそい方を考える ～

期日

2020年
[令和2年] 2月29日(土曜日)

場所

熊本城ホール・2階シビックホール(熊本市中心区桜町2-17)

内容

- 13:30 開会式
13:50 記念講演
「ビハーラ活動の基本姿勢とはーよりそい、学びあう」
鍋島 直樹 師(龍谷大学文学部真宗学科教授)
- 15:00 パネルディスカッション
「それぞれの場所でよりそい方を考える
ー各現場の今と望まれる状況ー」
和田奈緒子さん(特定医療法人萬生会 合志第一病院医師)
堀 浄信さん(児童養護施設 光明童園施設長)
加藤 尚史さん(熊本刑務所所属教誨師・浄土真宗本願寺派布教使)
- 17:00 閉会式
18:30 交流会

参加費

2,000円(研修会参加費) 6,000円(交流会参加費)



第5連区ビハーラ研修会

ビハーラ熊本30周年記念大会

【開催趣旨】

「ビハーラ」(Vihara)とは、古代インドにおいて仏教經典の記録などに使用されたサンスクリット語で、「精舎・僧院」「心身の安らぎ・くつろぎ」「休息の場所」を原意とします。

私たちのビハーラ活動は「生・老・病・死」の痛みや悲しみを抱えた人々を全人的に支援するケアであり、「願われないのち」の尊さに気づかされた人たちが集う共同体を意味します。

今日、私たちが暮らす社会は、多様に変化し、その課題は多岐にわたります。ビハーラ活動の方向性に、「広く社会の苦悩にかかわるビハーラ」と位置づけられており、その中で「ビハーラ活動は、宗派を超えて、広く人々の痛みや悲しみに関わっていく活動です。阿弥陀仏の本願は、苦悩を除く法としてすべてのものに等しくとどけられています。ここに人生の依りどころを見出した私たちは、御同朋として、孤独や不安のなかにある人々に共感し、苦悩を和らげるために活動します。」とあるように、社会の中で支援(ささえ)を必要とされている場に広く関わっていくことが求められています。

今年度は、第5連区(九州・沖縄)ビハーラ研修会を開催するにあたり、ビハーラ熊本30周年記念大会を併催し、『きつかときによ、ゆうてみなっせーよりそい方を考える』をテーマに、現代社会における関わり方についての学びを深め、ビハーラ活動における実践を広げてゆく機縁とさせていただきます。

【ビハーラ熊本30周年記念大会】

1991年1月に結成された「ビハーラ熊本」は2020年に設立30周年を迎えます。ビハーラ活動の理念に「あらゆるいのちは、はかなくも、かけがえのないものです。そのいのちのかけがえのなさに目覚め、お互いが御同朋として思いやりあうところに、仏教徒の生きる姿勢があります。」とあります。設立からの長い時間の中で社会も実践活動も大きく変化をしてきました。殊に病床等における実践は多岐にわたってきています。そこにあふれる「よりそう」という言葉が指し示すことは何なのでしょう。30周年記念大会にあたり、ビハーラ活動者としてのよりそい方・関わり方を共に考え、学ぶことができる研修会として参ります。

【第5連区ビハーラ研修会 参加申込書】

お名前	所属寺	組	寺
ご住所	〒 _____ ☎() _____		
参加区分 <small>※どちらか○記入</small>	・研修会のみ(2,000円)	・研修会及び交流会(8,000円)	
通信欄			

【お申し込み先・お問合せ等】

お申し込み先・お問い合わせ等につきましては、熊本教区教務所(担当:家郷)までご連絡下さい。

[熊本教区教務所 ☎096-343-8283 fax096-345-9167]